



がんに関する相談は、「相談支援センター」や「緩和ケアチーム」をご利用ください

緩和ケア認定看護師 渡邊 尚美

がんについていろいろな相談ができる「相談支援センター」が、当院のよろず相談室内にあるのは、ご存知でしょうか。

「相談支援センター」は、がんのことや治療費について、今後の療養や生活のことが心配、セカンドオピニオンを受けたいなど、がんの医療にかかわる相談に医療ソーシャルワーカーや看護師が対応しております。必要な冊子なども揃えております。患者さん個人の治療に関しては、お答えできないこともあります。困ったことがありましたら、ぜひ、「相談支援センター」にお気軽にお立ち寄りください。必要な情報や、解決のヒントがみつかるかもしれません。

また、がん患者さんの治療と並行して、早期から身体や気持ちのつらさを緩和できるよ

うに、医師、看護師、薬剤師など様々な職種からなる「緩和ケアチーム」がお手伝いをさせていただきます。患者さんやご家族のお気持ちに寄り添えるようなケアができたらと考えております。

「緩和ケアチーム」による支援をご希望される方は、主治医もしくは担当看護師にご相談ください。主治医や担当看護師からの依頼により、病室に伺います。外来の場合は、外来通院中の患者さんやご家族が気軽に相談できるように、緩和ケア外来を設けました。予約制となりますので、当院通院中の方は、緩和ケア外来の予約をお取り下さい。ぜひ、話をしてみたいと思ったらご利用ください。お待ちしております。

患者さんの笑顔が私達看護師の活力のもと

集中ケア認定看護師 内山 泉

私の職場である集中治療室はいつも戦場のようにはぐたたく、瞬く間に時間が過ぎていきます。皆さんがよくテレビで見る救命病棟〇〇時と現場は同じようなものです。患者さんは多くの機器類に囲まれ様々な音が聞こえる中で治療が行われます。時に心臓や肺、腎臓の代わりになる機械をつけ回復の手助けをしています。その中で、できる限り患者さん中心のケアを提供したいと思っています。

緊急時にはスムーズに対応できるように

チームワークと整理整頓を心がけています。多くの医療スタッフと共に社会復帰に向けた援助も実践しています。

そんな危機的状況の中での患者さんの「ありがとう。」「楽になった。」など患者さんの一言はとてもうれしいものです。また、回復された患者さんの「元気になったよ。」「退院したよ。」などと挨拶に来てくださる姿は、日常生活の大切さを思い知らされます。みなさんの笑顔を目標に頑張りたいと思います。